

# 認定看護師ニュースレター 第 61 報

こんにちは、診療看護師(NP)/緩和ケア認定看護師の桃田美智です。

「診療看護師 (NP) とは」  
については第 51 報を  
ご参照ください

## 現在の診療看護師数

	クリティカルケア領域	プライマリケア領域
合格者数 (2010 年～2021 年度)	521 名	163 名 (小児 6 名、成人/老年 157 名)

2020 年より資格更新制度が開始され、5 年ごとの更新が必要になりました。

2010 年度～2016 年度までの資格取得者 280 名が更新されています。

2015 年より、NP 学会学術集會も開催されており、2021 年は、

長崎にて「Collaboration 診療看護師 (NP) の真価を問い、

新たな価値を創造する」というテーマで開催されました。



医療・介護現場、地域での診療看護師活動のアウトカムは、まだ十分とは言えませんが、その中でも災害時の医療提供において(特にコロナ禍の混乱において)、長崎県で DMAT 派遣の際に必ず診療看護師(NP)を含むようになったことなどが紹介されました。これは診療看護師(NP)が医療現場全体をコーディネートする役割を担うことで、混乱する現場をうまく機能させられることが評価されたものです。

実際に、DMAT が派遣されたクラスターの現場では、県内の診療看護師が活躍されています。

私自身が法人内施設の支援や CovMAT として法人外施設のクラスター支援に参加した際にも DMAT の診療看護師と連携ができ、経験のない施設でもスムーズな活動ができました(20 名越えの利用者を抱える RED ゾーン内の夜勤を 1 人で行うなどちょっとハードでしたが・・・)。

プライマリ領域では、病院の総合診療科や皮膚科、形成外科、手術室といった多様な部門、また訪問看護、介護施設、診療所など地域でも活動しています。病院でマネジメント力、包括的アセスメント力、実践能力を評価され看護職員の教育や退院支援に特化して、活動している先輩の診療看護師もおられます。



下記 QR コードで様々な分野で活動する NP のインタビュー動画を見ることができます。ぜひご覧ください



今年度の学術集會は愛知で開催。クリティカル色満載の学会になりそうです。

## NP のコンピテンシー

